

神戸市におけるつどいの場の現状について

令和元年 9 月 6 日

1. つどいの場の箇所数、参加者人数



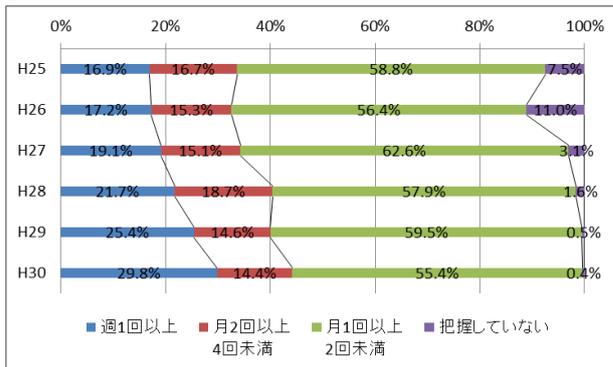
神戸市のつどいの場は、箇所数、参加数ともに、アップダウンしつつ推移している。

国が示す基準では、つどいの場は、週 1 回以上の開催を基本とし、開催箇所数は人口 1 万人に概ね 10 か所を目標とされているが、平成 30 年の神戸市の人口が約 153 万人に対して、つどいの場は **1,344 箇所**のため、190 箇所ほど不足。

参加人数については、国は、高齢者人口の 1 割参加を目標としていることから、平成 30 年度時点の神戸市の高齢者人口が約 42.8 万人と考えると、**参加者総数は 35,814 人**のため、目標の 42,800 人に対し、7,000 人ほど不足している。

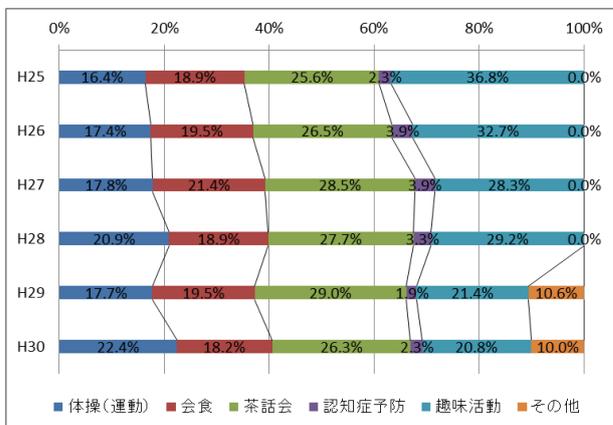
参加人数については、国は、高齢者人口

2. つどいの場の開催頻度(年度別割合)



開催頻度としては、週 1 回以上のつどいの場が増加傾向だが、過半数は月 1 回以上 2 回未満である。

3. 活動内容別つどいの場の割合

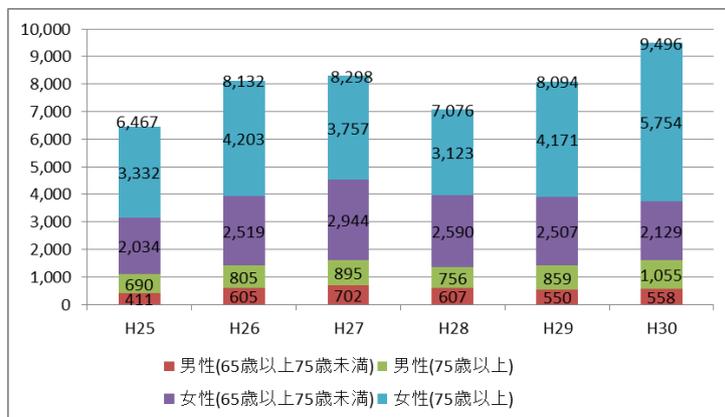


体操(運動)が微増し、趣味活動が減少。

神戸市におけるつどいの場の現状について

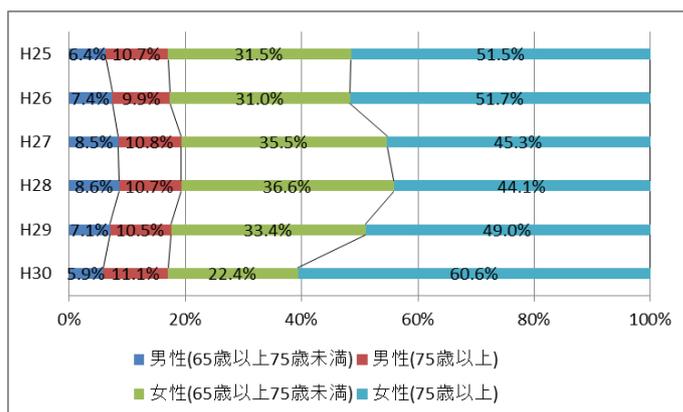
令和元年 9 月 6 日

4.男女別、1箇所、1回あたりの参加者実人数



前期高齢者の参加が減少傾向にあるが、後期高齢者は概ね**増加傾向**にあり、全体の参加者数も増えている。

5.男女別、1箇所、1回あたりの参加者割合

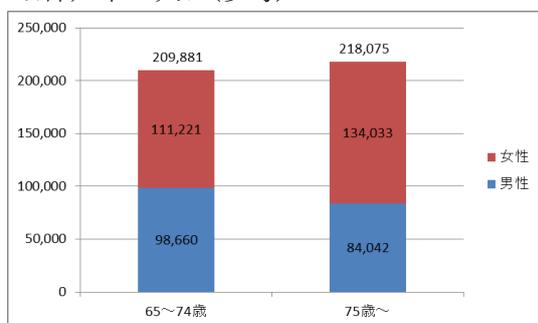


つどいの場への参加割合は、後期高齢者の女性の割合が大幅に増加している。

神戸市の平成 30 年度末時点前期高齢者合計が約 21 万人、後期高齢者が約 21.8 万人であるが、参加者割合が前期高齢と後期高齢でおよそ 3 対 7 となっている現状。

また神戸市の平成 30 年度末時点での高齢者人口割合は、それぞれ男性が 42.7%、女性 57.3%であるが、つどいの場の参加割合は、男性 17%、女性 83%と、人口と比べても女性の参加率が非常に高い。

6.神戸市の人口(参考)



全体 高齢化率 27.9% 後期高齢化率 14.2%

男性 高齢化率 25.1% 後期高齢化率 11.6%

女性 高齢化率 30.4% 後期高齢化率 16.6%

※平成 29 年度の数值は、国への報告に、地域拠点型一般介護予防事業の数值を足したもの(箇所数 114 箇所、参加者数 1,801 人)